

川崎異業種研究会（略称：川異研）は、昭和62年7月に設立した当所会員企業から集まった異業種交流のグループです。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

9月定例会

9月13日（木）当所にて9月定例会を開催した。会員15名、オブザーバー2名、和光大学学生8名の参加者を得た。講師に、青山学院大学 教育人間科学部 心理学科教授 平山栄治氏を迎え、「従業員の健康と経営管理」と題し講演が行われた。

現在、労働安全衛生法により、従業員50人以上の企業は、ストレスチェックを行うことが義務付けられている。50人未満の企業にも努力目標とされており、従業員のメンタルヘルスの不調への気づきや、ハイリスクへの対応が重要視されている。実際臨床心理士として多くのクライアントと向き合う日々を送っておられる講師のもとにも、ストレスチェックをきっかけに受診される方が増えているという。

講演は、経営者としてどのような問題や疑問があるのか

を、参加者からざっくばらんに講師に投げかけ一緒に考える形式で進んだ。抑うつ状態の従業員への接し方や、大人の発達障害への対応など、現場で起こっている問題から、精神力を鍛える方法があるかといった素朴な疑問まで、幅広い質問が寄せられた。臨床心理学者と話す貴重な機会に、参加者一同熱心に耳を傾け大変好評を博した講演となった。懇親会は場所を移し、講師にも参加いただき膝を交えた深い交流会となった。

9月勉強会

9月6日（木）中原市民館にて、9月勉強会を開催した。会員5名、和光大学生4名、見学者1名の参加者を得た。

今回は、「働き方の現状と今後の課題」と題し、法政大学教授 坂爪洋美氏による講演が行われた。今年働き方改革

関連法が成立し、長時間労働、人手不足問題等を背景に、働き方が問題になっている。講演では、働き方改革が目指すものは何か、労働時間削減は何故必要なのかなど、原点に立ち返って考察された。「残業」に潜む奥深い問題、様々な原因、具体的な事例を聞き、参加者からも自社の状況や問題点など、活発な意見が述べられた。その後に行われた懇親会でも、働くこと、人材育成などについて熱く語り合った。身近なテーマでもあり、好評を博した勉強会となった。



質疑応答に熱が入る参加者

加入のお問い合わせは

事務局：麻生支所 TEL 044-952-1191